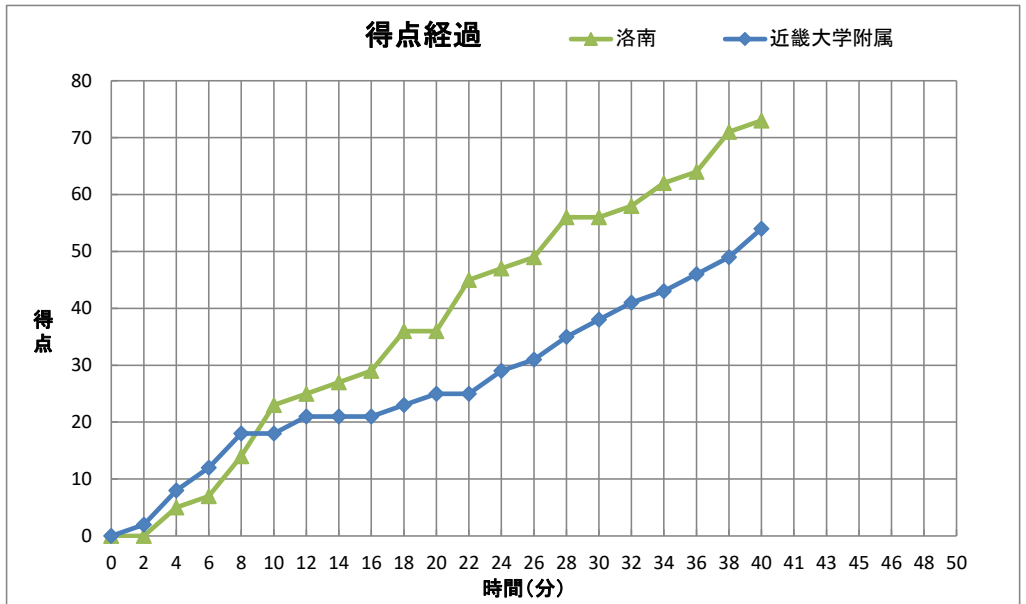




令和3年度
第68回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

男子		6月27日				15:00 開始															
決勝						B															
◎ 洛南		73				54 近畿大学附属															
		<table border="1"> <tr><td>23</td><td>1st</td><td>18</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>7</td></tr> <tr><td>20</td><td>3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>17</td><td>4th</td><td>16</td></tr> </table>				23	1st	18	13	2nd	7	20	3rd	13	17	4th	16				
23	1st	18																			
13	2nd	7																			
20	3rd	13																			
17	4th	16																			
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則								
* 4	岩屋 頼	2	0	1	0	0	* 4	竹宮 聖太郎	2	0	1	0	0								
* 5	大西 一輝	19	3	5	0	3	* 5	楊 裕貴	11	0	5	1	3								
* 6	山岸 優介	2	0	1	0	2	6	池澤 晴太	0	0	0	0	1								
7	杉信 イフエアニ	15	1	6	0	1	* 7	東 拓志	6	0	3	0	0								
* 8	籾田 恵大	7	0	3	1	2	* 8	高畑 慶次郎	16	2	3	4	3								
9	高田 和幸	5	1	1	0	0	9	中島 秀太	0	0	0	0	0								
10	廣瀬 励哉	-	-	-	-	-	10	田中 優大	-	-	-	-	-								
11	中西 慶	-	-	-	-	-	11	北野 諒	2	0	1	0	0								
* 12	星川 開聖	15	1	5	2	0	* 12	野崎 稜太	3	1	0	0	0								
13	三浦 健一	0	0	0	0	1	13	西岡 優太	0	0	0	0	2								
14	西村 渉	6	0	3	0	1	14	山下 瑞季	0	0	0	0	0								
15	波多野 心優	2	0	1	0	1	15	中西 悠	0	0	0	0	0								
16	辻 永遠	0	0	0	0	0	16	田中 陸翔	2	0	0	2	0								
17	鬼防 壬陽人	0	0	0	0	0	17	田中 偉航	1	0	0	1	1								
18	和田 天祐	0	0	0	0	0	18	保田 空海	11	2	2	1	1								
コーチ	吉田 裕司					0	コーチ	大森 健史					0								
Aコーチ	河合 祥樹						Aコーチ	山本 悠真													
合計		73	6	26	3	11	合計		54	5	15	9	11								
主審: 岩木 太郎 副審: 田中 優志 副審: 黒岡 和哲																					



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:
TeamB	14:38	17:55	21:56	33:24	:	:

〔戦評〕

近畿大会決勝は、2014年以来5大会ぶりに京都府代表対大阪府代表の対戦となった。先制点は、近大附属#5楊ドライブイン。その後、#8高畑が3Pやポストアップからのバスケットカントを決めるなど高いオフェンス能力で得点を重ねリードする展開。一方、洛南は#5大西のスティールから反撃を開始し、第1Qだけで10得点の活躍で点差を縮める。交代で出場した洛南#7杉信が、身体能力を生かしたリバウンドシュートやレイアップシュートで逆転に成功し、23対18洛南リードで第1Q終了。

第2Q、洛南の堅守が光り、近大附属は残り3分まで得点を3点に抑えられる苦しい展開。そこで、近大附属は2-3ゾーンを仕掛けゴール下の守りを固める。しかし、洛南は#7杉信のスティールや#12星川のゴール下シュートでリードを広げ11点差で前半を終える。

第3Q、洛南#12星川が得点し、その後フルコートプレスを仕掛け一気にリードを20点に広げ、近大附属タイムアウト。タイムアウト後、近大附属は#7東がゴール下をねじ込み反撃を見せる。選手層の厚い近大附属は、#17田中、#18保田を起用し、速い展開に持ち込み最終ピリオドへ。

第4Q、近大附属はフルコートプレスで流れを掴み、#18保田が3Pを決め追い上げムード。しかし、洛南#12星川がそうはさせない。ジャンプシュート2本、3P1本を沈めリードを守り続ける。近大附属も、前日に追い上げのきっかけとなった#8高畑が3Pを打ち続けるも決めるきることができない。73対54で洛南が2018年以来の優勝を決めた。2日間連続のダブルヘッダーというタフな試合スケジュールを戦い抜いた両チームに拍手を送りたい。